昭和42年5月12日第三種郵便物認可　第１７０７５号　（日刊）

2020年（令和2年）
6月20日　土曜日

朝日小学生新聞

© 朝日学生新聞社
〒104-8433　東京都中央区築地 5-3-2　朝日新聞社新館 9 階
電話 03-3545-5223（広報）　03-3545-5222（編集）
購読申し込み 0120-415843　ウェブサイト www.asagaku.com

2面 さかなクン
4面 キウイフルーツのパフェ
5面 ひと並みはずれた ミケランジェロ
8面 まんが 八犬伝

ピックアップ
文字を書くゾウ
2面

市原ぞうの国提供

ニュースあれこれ

都道府県こえる移動制限解除
社会
徐々に経済をまわす

新幹線に乗って大阪に向かう子どもたち＝19日、ＪＲ東京駅　©朝日新聞社

安倍晋三首相は18日、新型コロナウイルスの感染の広がりを防ぐために求めてきた移動の自粛をすべて解除すると表明しました。19日から、他の都道府県から観光客を呼びこむことなどを認めました。

緊急事態宣言は５月25日に全国で解除されましたが、政府は最後まで宣言の対象だった東京や北海道など５都道府県との不要不急の行き来を、慎重に考えるよう求めてきました。

月の水を探しにいきます
科学
2023年 アメリカの無人探査車

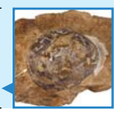
月探査車「バイパー」のイメージ＝ＮＡＳＡ提供

月にねむる水を探すため、アメリカ（米国）の無人探査車が2023年後半に月に送られることになりました。月の南極近くを調べ、宇宙飛行士の飲料水やロケットの燃料に使える水資源の発見をめざします。米航空宇宙局（ＮＡＳＡ）が11日、発表しました。

探査車は重さ約450キロの「バイパー」。深さ１メートルまでほれるドリルなどを搭載し、約100日で数キロを走れます。

アルテミス計画　米国が2024年以降、月面に飛行士を送りこむ計画。今後、月面基地を建設する予定です。

3面にもニュースあれこれ
河井議員夫妻を逮捕
恐竜の卵の化石なぜ少ない



日付は現地時間。記事の一部は朝日新聞社の提供です

葉っぱから やさしいひびき♪

植物スピーカーつくる 大阪の古賀敬司さん

植物から音楽が流れるスピーカー。大阪府の古賀敬司さん（68歳）はこんなふしぎな機械を発明して、広めようとしています。「音の性質」は今年度から、小学３年生の理科で学ぶことになりました。古賀さんは「葉っぱからなぜ音が出るんだろうという疑問から、理科の楽しさにふれてもらえたら」と話します。（中塚慧）

古賀敬司さんが植物スピーカーを操作すると、やさしい音が流れました＝10日、大阪府茨木市

古賀さんが、長さ90センチあるカークリコという植物の葉っぱに振動素子という棒をあてると、音がやさしく流れました。葉の間に頭を入れると、ラッパの中にいるように音がひびきます。葉をさわると全体がふるえていました。

音は、空気の振動が耳の鼓膜に伝わって聞こえます。植物スピーカーはCDプレーヤーやスマートフォンを、音を増幅するアンプにつなぎ、そのアンプが振動素子に接続されています。

イラスト・ふじわらのりこ

振動素子は電気信号を振動に変え、葉に伝えます。すると葉がふるえ、音楽が流れるのです。

「音の特徴は、やさしいひびきです。植物だからか、小川のせせらぎなど自然の音がよく合いますよ」と古賀さん。

エンジニアだった古賀さんが植物スピーカーを発明したのは2002年。高校生のころから「葉から音が聞こえたら」と考えていました。いろいろな花や葉で試し、カークリコが最もよくひびくとつきとめました。

小３の教材にする計画も「理科の楽しさに気づくきっかけに」

植物スピーカーで音を聞くフィリピンのカリンガ族の子どもたち＝古賀敬司さん提供

これまで、福岡県青少年科学館などで植物スピーカーを展示してきました。2014年には、フィリピンの山岳地帯に住むカリンガ族の子どもたちに届けました。カークリコがはえている地域で、現地では儀式でこの葉を使うそうです。現地の人はカークリコがよくひびくと知っていました。子どもたちは植物スピーカーの音を聞き、目を丸くして喜んだといいます。

日本で小学3年生の理科で音を学ぶことになり、学校で使う教材にする計画もあります。古賀さんは「理科ってふしぎだな、楽しさに気づくきっかけにしてほしい」と語ります。

ついに半世紀 第50回学校新聞コンクール

第50回学校新聞コンクール（朝日学生新聞社主催、文部科学省など後援）の作品を募集します。学校を通じて、委員会やクラス、個人でつくった作品を送ってください。

来年2月まで毎月2点の入選作を発表し、その中から年度末の最終審査で文部科学大臣賞など各賞が決まります。

作品を募集 来年１月まで

◇審査の対象　形式は、印刷した新聞、壁新聞など何でもかまいません。地域を調べたものや、社会の問題を取り上げるなど、テーマも自由です。

◇応募方法　新聞（コピーも可）と、別紙に学校の所在地、学校（学級）名、校長先生と指導の先生の名前、つくった人の名前、どのようにつくったかなど新聞の簡単な説明をそえて送ってください。

◇送り先　〒104・8433　東京都中央区築地5―3―2　朝日学生新聞社「学校新聞コンクール」係

◇しめきり　毎月1日（最終しめきりは2021年1月31日）。1日を過ぎた場合は翌月分に。

◇入選発表　7月から21年2月まで毎月中旬、朝日小学生新聞紙上で。

◇最終審査　21年2月中旬

◇入賞発表　21年3月上旬を予定

天声こども語

犬や猫と話すことができるといいな、と思ったことはありませんか。そんな夢が遠くないうちにかなう、と文部科学省が科学技術白書という本の中で予測しています▼動物が人の言葉をわかったり動物の言いたいことが言葉になったりする装置が14年後には使われるようになるというのです。しかも持ち運びできる装置ですから、犬や猫と散歩したり遊んだりしながら会話を楽しめます▼動物と話せるようになるという予測は明治時代にもありました。20世紀に入った1901年、新聞社が20世紀にできるだろう科学技術を特集しました。その中に無線電信電話や7日間世界一周などとともに、人と動物が話せるという予測がありました。20世紀にはむりでしたが、21世紀にはできそうです▼みなさんがおとなになったころには、今は夢だと思っているいろいろなことが夢でなくなっているのではないでしょうか。楽しみですね。

2020.6.20

ジャンケンポン

泉 昭二
16245

ぼくは、毎朝、一番はじめに、ジャンケンポンをよみます。ミーヤが、かわいくて、大好きです。まねもしています。”　（奈良県・年長）

森の戦士ボノロン
絵画コンクール作品募集中！
テーマは「ボノロンとみどりのしぜん」
応募者全員に参加賞をプレゼント！
詳しくはHPをご覧ください しめきりは9月30日(水)まで！
©コアミックス、©ボノロンといっしょ。2007

はじめてでもカンタン！
手づくり布マスク
こども用・女性用・男性用の3つのサイズがつくれる 製図・型紙つき！
自分で作れる！
はじめてでもカンタン！
手づくり布マスク
どのマスクにもフィルターが入れられるよ
おでかけにかかせないマスクを自分で作ってみよう！　材料はハンカチや手ぬぐい、ガーゼなどのお家にあるものでOK。作りかたは大きな写真ではじめてでもわかりやすく、洗いかたや保管方法も紹介しています。
● A4変型判並製　●小学校中学年から　定価（本体 1,200 円＋税）
折るだけでできる！　初級編
ハンカチや手ぬぐいを折りたたむだけでカンタンにできちゃう！　針も糸も使わない、ひとりで作れるマスク。
まっすぐ手ぬいの　中級編
ぬいものがはじめてでも大丈夫！まっすぐぬうだけで完成するシンプルマスクはアレンジも自由自在。
ミシンでチャレンジ　上級編
おとなの人といっしょに、ミシンをつかってプリーツマスクや立体マスクを作ってみよう！
理論社　〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2-5　TEL.03-6264-8890　FAX.03-6264-8892　https://www.rironsha.com
● お近くの書店にてお買い求めください